

No. 1363

資源を大切に

2月27日、東京都市センターでは省エネルギー、省資源国民運動全国集會が開かれました。挨拶に立つ小淵総理府総務長官この全国大会は石油価格の急騰でエネルギー事情が世界的に厳しくなってきたのをうけて開かれたもので、省エネ、省資源運動をより一層強化、拡大していこうというもの。大会では「暮らしの中の省エネルギーについて私の提案」入選者の表彰式が行なわれ、続いて質疑応答に入りました。石油の殆んどを海外に依存している我が国にとって緊急の重大問題となってきた省エネ・省資源。国民一人一人が心がけていきたいものです。

白と黒の造形美

— 駒井哲郎銅版画展 —

駒井哲郎銅版画展がいま東京上野の東京都美術館で開かれています。この銅版画展には駒井哲郎の40年余におよぶ作家生活のほとんどの作品が展示されており駒井版画の世界を知るうえで重要なものとなっています。駒井哲郎は昭和51年56才の若さで死去しましたが、その制作活動でたえず銅版画の可能性を追求し、「白と黒の造形美」に日本人特有の詩情を刻み続けましたこの銅版画展は3月13日まで開かれています。

おごそかに「加冠の儀」

— 浩宮さま成年式 —

浩宮徳仁親王の成年式が満20歳の誕生日である2月23日皇居で行われました。皇室の成年式は奈良時代に行われた聖武天皇の皇太子元服に始まる長い歴史を持つが天皇陛下が在位中に皇長孫の成年式が行われたのは浩宮さまが初めて。成年式を中心行事「加冠の儀」は天皇、皇后両陛下、皇太子殿下、ご夫妻がご臨席になり午前10時から宮殿、春秋の間でおごそかに行われました。元服の故事にならい未成年の装束である闕腋袍（けってきのほう）に空頂黒幘（くうちょうこくさつ）を頭につけた浩宮さま。まず加冠役の徳川侍従次長が空頂黒幘をとって成年になったことを示す燕尾綬（えんびのえい）の冠をかぶせます。そして掛緒の結びが行われ、成年浩宮さまの誕生しました。天皇、皇后両陛下皇太子殿下ご夫妻の前に進まれてお言葉を述べられる浩宮さま。これで浩宮さまは皇太子殿下に次ぐ皇位継承者として摂政となる資格、皇室會議の選挙権をお持ちになり、成年皇族として活動されることになりました。